

YAMAHA

PortaSound

PSS-50



取扱説明書・保証書

このたびは、ヤマハ・ポータサウンドPSS-50をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

この取扱説明書の見方

本書は、少しずつステップを踏んで読んでいただけるような構成になっています。従って、基本的には前の方から順にご覧ください。また、次のような見方をされるのもアイデアです。

全てをご理解いただいた後は……

“もくじ”のページを開き、目的に合った所をさがす。

ボタン等のはたらきがわからなくなった時……

“各部の名称とはたらき”を開いて調べる。
さらに詳しく知りたい時は、そこに記載してある参照ページを見る。

もくじ

1 ご使用の前に

- 1. ご注意…………… 1
- 2. 電源のしたく…………… 2

2 各部の名称とはたらき

- 1. 操作パネル…………… 3
- 2. 付属端子…………… 5

3 鳴らしてみよう

- 1. デモンストレーション曲を聴く…………… 6
- 2. 好きな音色で弾く…………… 7
- 3. プリセットソングを聴く…………… 8
- 4. プリセットソングのメロディーを弾く…………… 9
 - ・プリセットソング(メロディー譜)……………11
- 5. 低音側と高音側を両方弾く……………17
- 6. リズムに合わせて弾く……………18
- 7. 演奏に効果を加える……………20
- 8. リズム、ベース、コードに合わせて弾く……………21
 - ・コード一覧表……………23
 - ・練習曲(ラブ・ミー・テンダー)……………25

4 資料

- 1. 他の機器と接続するには?……………26
- 2. オプション(別売品)のご紹介……………26
- 3. おかしいな?と思ったら……………27
- 4. 仕様……………28
- 5. 発音数一覧表……………28
- 6. アフターサービスと保証……………29

1 ご使用の前に

1. ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をぶつけたり、上に座ったりしないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ず電源切替スイッチを切ってください。
- ・電源アダプターを使用した場合は、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上に乗らないでください。貼り付いてしまうことがあります。

保管してください。



- ・このガイドブックをお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会
「音のエチケット」キャンペーンの
シンボルマークです。

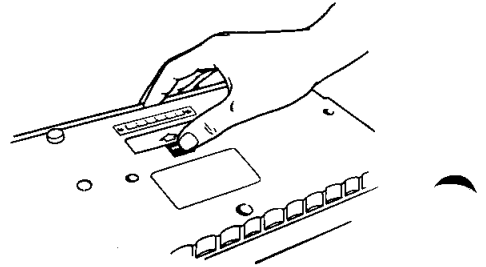
楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

2. 電源のしたく

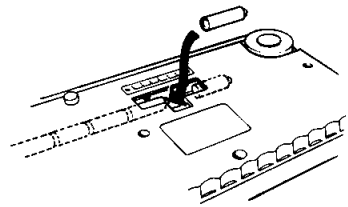
PSS-50は、乾電池でも家庭用コンセントでも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んで準備してください。

乾電池を使う場合

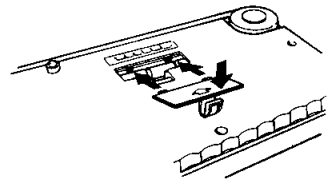
①PSS-50を裏返し、電池プタを外します。



②付属の乾電池(単3乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。



③電池プタを閉めます。



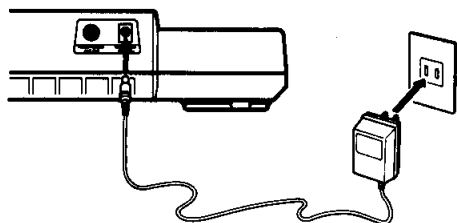
*電池が少なくなると、音が歪んだり、誤動作するようになります。このような時は、6本共新しいものと交換してください。

お買い求めの際、乾電池は単3乾電池6本とご指定ください。

家庭用コンセントから電源をとる場合

別売りの電源アダプター(PA-3)を使用します。図のように接続してください。

- ①背面パネルにある電源アダプター接続用端子(DC 9-12V IN)へ差し込む。



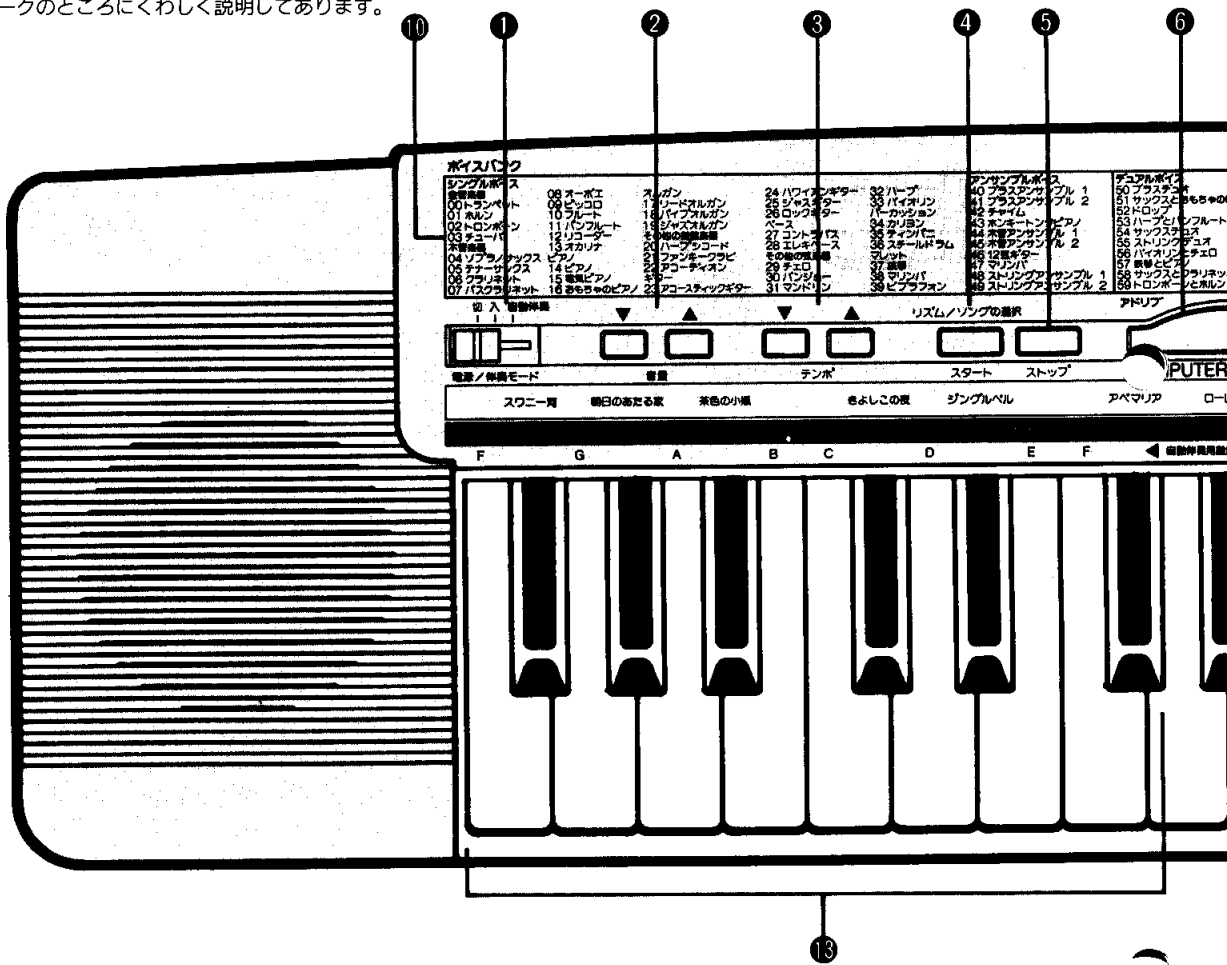
②家庭用(AC100V) コンセントに差し込む。

*他の電源アダプターをご使用になる場合は、必ず PSS-50 の裏側に記載されているものにしてください。

2 各部の名称とはたらき

1. 操作パネル

○マークのところにくわしく説明してあります。



①電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏)切替スイッチ (⇒8～21ページ)

切

この位置にすると電源が切れます。使い終わったら、必ずこの位置に戻してください。

入

この位置にすると電源が入ります。自動伴奏させないで演奏する時にはこの位置にします。

自動伴奏

この位置にすると電源が入ります。⑩の(自動伴奏用鍵盤)を指1本～3本で押さえて自動伴奏させる時には、この位置にします。伴奏は、ベース、コード、リズムから成り立ちます。もちろん、自動伴奏に合わせて演奏できます。

②音量(▼、▲)ボタン (⇒8ページ)

全体の音量を調節するためのボタンです。

③テンポ(▼、▲)ボタン (⇒9ページ)

リズム(曲)の速さを調節するためのボタンです。

④リズム/ソングの選択・スタートボタン (⇒8、18ページ)

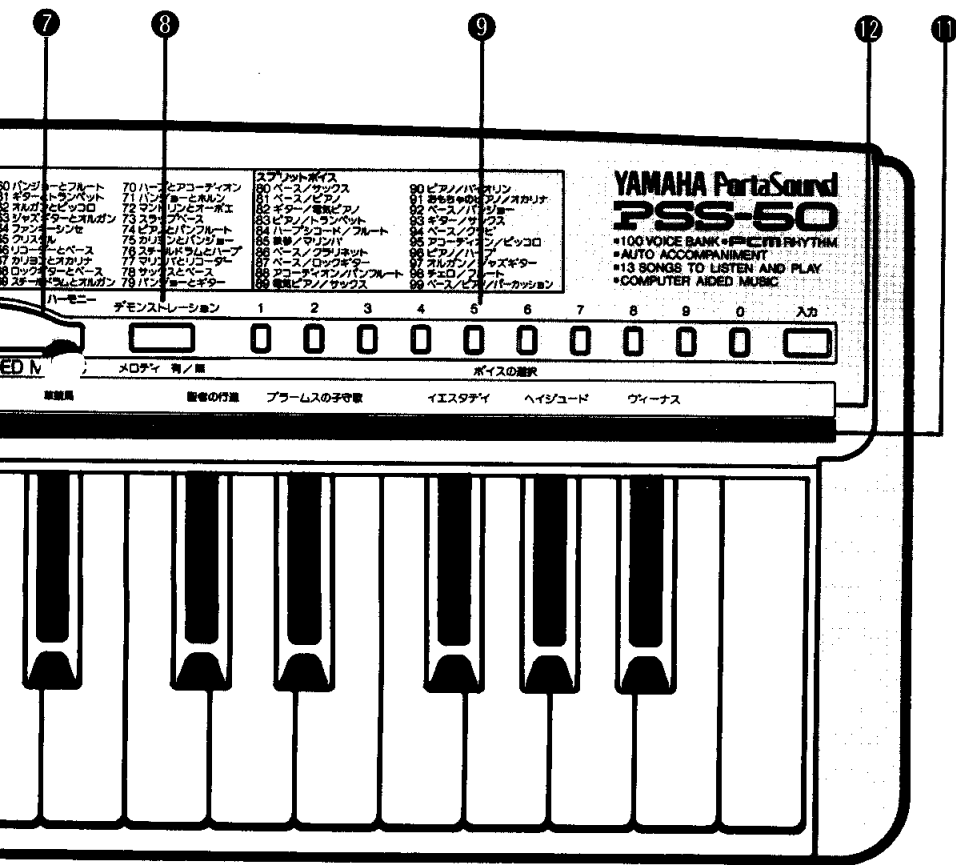
19種類のリズムパターンの中からリズムを選択したり、13種類のプリセットソングの中から曲を選択する時に使うボタンです。プリセットソングは選択後にすぐ鳴り出しますが、リズムは①の(電源/伴奏モード)切替スイッチの位置によって、すぐに鳴り出す場合と、演奏を始めないと鳴り出さない場合があります。

⑤ストップボタン (⇒6、8、10、19、22ページ)

デモンストレーション曲、プリセットソング、リズムを停止させる時に押します。

⑥アドリブボタン (⇒20ページ)

このボタンを押すと、自動的にリズムに合わせてアドリブメロディーが加わります。押し続けると連続して加わります。



⑦ハーモニーボタン (⇒20ページ)

このボタンを押すと、演奏音にハーモニーが加わり厚みのある音になります。そしてもう一度押すと、効果が解除されて元の状態に戻ります。

⑧デモンストレーション・メロディー有/無ボタン(⇒6、9ページ)

デモンストレーション曲を聴きたい時は、このボタンを押すことによりスタートさせることができます。もう一度押すと止まります。

また、プリセットソングを鳴らしている時には、メロディー無しとメロディー有りの状態を切り替えるためのボタンになります。

⑨ボイスの選択 (1~0、入力) ボタン (⇒7ページ)

100種類の音色の中から、自分で弾く演奏音の音色を指定するためのボタンです。

⑩ボイスバンク表 (⇒7ページ)

100種類の音色名が表示されています。これらの中から、自分で弾く演奏音の音色を自由に選択できます。

⑪リズムパターンの選択表示 (⇒18ページ)

19種類のリズム名が各白鍵の上に表示されています。リズムを鳴らす時は、①の(リズム/ソングの選択・スタート)ボタンを押しながら、鳴らしたいリズムの白鍵を押します。

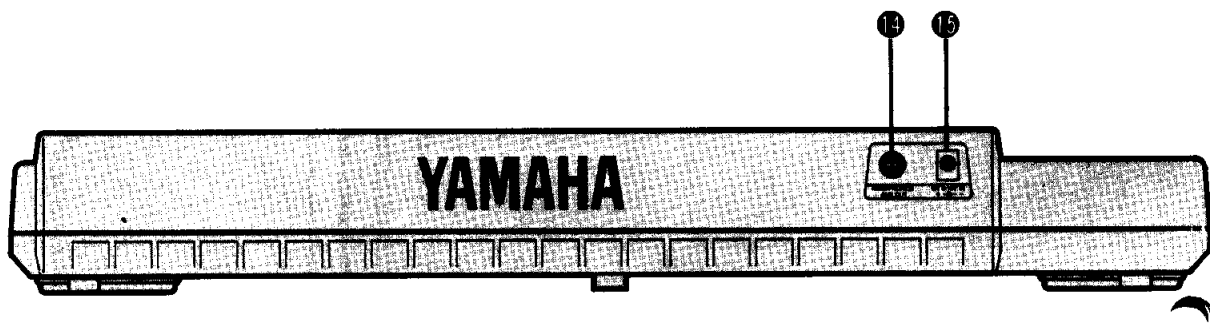
⑫プリセットソングの選択表示 (⇒8ページ)

13種類の曲名が各黒鍵の上に表示されています。プリセットソングを鳴らす時は、①の(リズム/ソングの選択・スタート)ボタンを押しながら、鳴らしたい曲の黒鍵を押します。

⑬自動伴奏用鍵盤(⇒21ページ)

自動伴奏の状態にした時は、これらの鍵盤を使って、シングルフィンガーコードを押さえます。

2. 付属端子



●ヘッドホン/AUX出力端子 (→26ページ)

PSS-50の音を出力する端子です。ヘッドホンを接続して夜間練習したり、キーボードアンプやステレオと接続して、より大きな音で鳴らすことができます。

この端子にプラグを差し込むと、PSS-50のスピーカーからは音が出なくなります。

●電源アダプター接続用端子 (→2ページ)

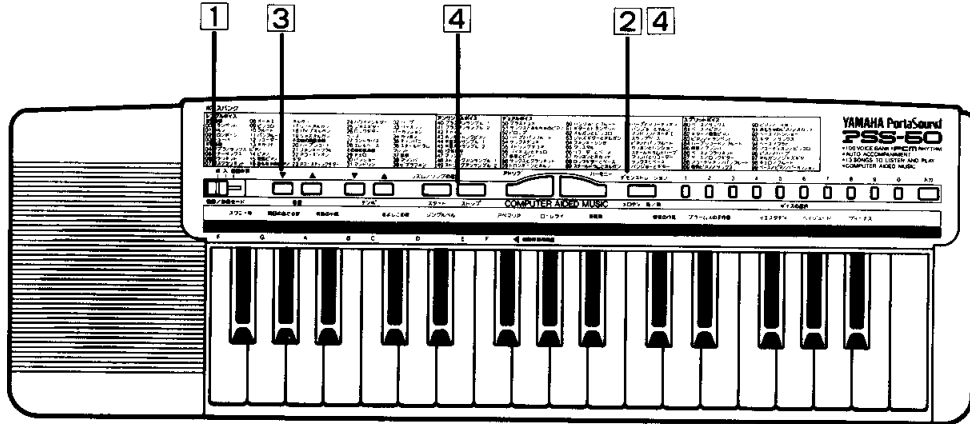
別売りの電源アダプター(PA-3)を接続するための端子です。

電源アダプターを接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をとって使用できるようになります。

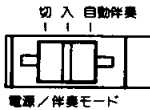
3 鳴らしてみよう

1. デモンストレーション曲を聴く

PSS-50にはお手本としてデモンストレーションの曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。



1 電源を入れる



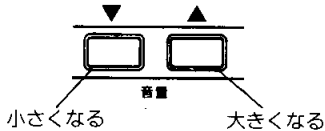
電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏) 切替スイッチを“入”または“自動伴奏”の位置にします。すると電源が入ります。

2 スタート



デモンストレーションボタンを押して、曲をスタートさせます。

3 音量の調節



音量ボタンを押して、適度な音量になるように調節します。▼ボタンを1回押すごとに音が1段階小さくなり、▲ボタンを1回押すごとに1段階大きくなります。電源を入れた状態から、小さい方に9段階、大きい方に1段階の範囲で調節できます。

※▼ボタンと▲ボタンを同時に押すと、電源を入れた時と同じ音量になります。

4 停止



曲は繰り返し再生されます。停止させる時は、ストップボタンまたはデモンストレーションボタンを押してください。

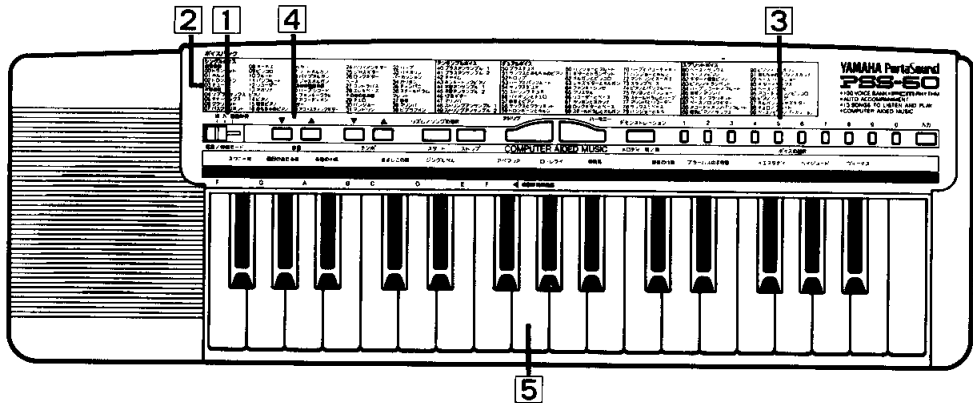
※テンポを調節することもできます。調節の方法は9ページをご覧ください。

2. 好きな音色で弾く

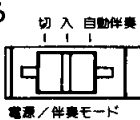
PSS-50には100種類の音色があり、次のように大きく4つに分類できます。いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

- ・シングルボイス40種類(音色番号00～39)
全ての鍵盤の範囲で演奏できます。単音色で鳴ります。
- ・アンサンブルボイス10種類(音色番号40～49)
全ての鍵盤の範囲で演奏できます。単音色で鳴りますが、シングルボイスよりも厚みのある音色です。

- ・デュアルボイス30種類(音色番号50～79)
全ての鍵盤の範囲で演奏できます。2種類の音色が重なって鳴ります。
- ・スプリットボイス20種類(音色番号80～99)
低音側と高音側を別々の音色で演奏できます。それぞれ単音色で鳴ります。詳しくは、17ページの“低音側と高音側を両方弾く”をご覧ください。



1 電源を入れる

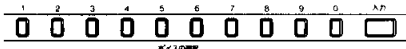


電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏)切替スイッチを“入”の位置にします。すると電源が入ります。

2 音色番号の確認

ボイスバンク表の中から、演奏に使う音色を見つけます。

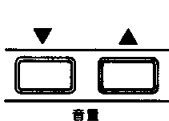
3 音色の指定



ボイスの選択ボタンで、演奏に使う音色を指定します。1～0ボタンを使って2桁の番号を指定し、次に入力ボタンを押します。すると、指定した音色で演奏できるようになります。

- ※たとえば、音色番号02のトロンボーンを指定する場合には、0を押し次に2を押し、最後に入力ボタンを押します。
- ※音色は、入力ボタンを押した時点で切り替わります。
- ※電源を入れた状態では、音色番号00のトランペットの音色になっています。

4 音量調節



音量ボタンで音量調節します。

5 演奏



好きな曲を弾いてみましょう。

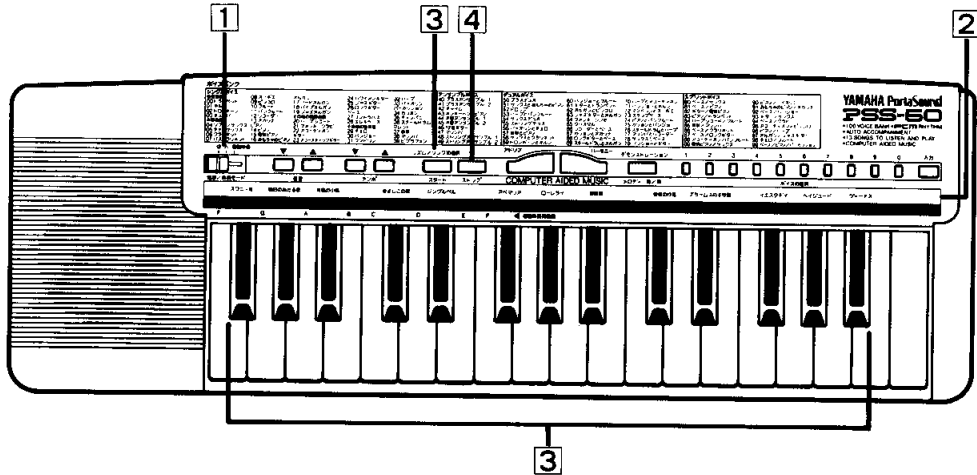
※いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

※最大同時発音数は8音ですが、自動伴奏の機能を使ったり、アンサンブルボイスまたはデュアルボイスの音色を選ぶと、同時発音数は少なくなります。(28ページ参照)

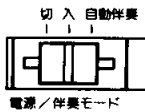
※スプリットボイスの音色(音色番号80～99)を選ぶと、低音側と高音側を別々の音色で演奏できます。詳しくは、17ページの“低音側と高音側を両方弾く”をご覧ください。

3. プリセットソングを聴く

PSS-50にはお手本として、プリセットソングと呼ばれる13種類の曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。

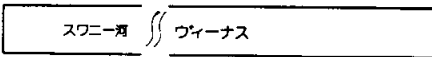


1 電源を入れる



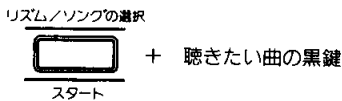
電源/伴奏モード (切/入/自動伴奏) 切替スイッチを“入”または“自動伴奏”の位置にします。すると電源が入ります。

2 曲の確認



プリセットソングの選択表示の中から、聴きたい曲を見つけます。

3 スタート



リズム/ソングの選択・スタートボタンを押しながら、聴きたい曲の黒鍵を同時に押します。すると2小節のカウントの後、曲がスタートします。

4 停止

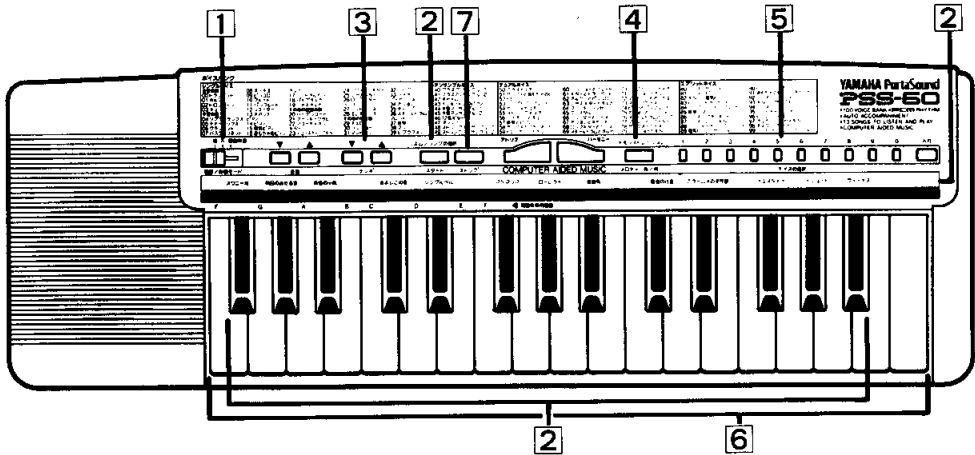


曲は繰り返し再生されます。停止させる時は、ストップボタンを押してください。

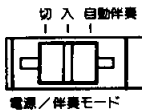
* プリセットソングの中にヴィーナスという曲がありますが、この曲はデモンストレーションの曲でもあります。
* テンポを調節することもできます。調節の方法は、9ページをご覧ください。

4. プリセットソングのメロディーを弾く

プリセットソングの13種類の曲は、再生中にメロディー音を消すことができます。そのうえで、自分でメロディーを弾くことができます。好きな音色を選んで楽しく演奏してみましょう。

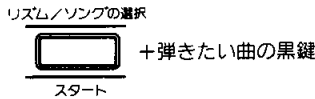


1 電源を入れる



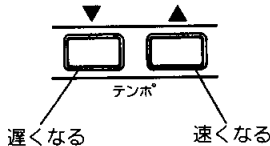
電源/伴奏モード (切/入/自動伴奏) 切替スイッチを“入”または“自動伴奏”の位置にします。すると電源が入ります。

2 曲の確認とスタート



プリセットソングの選択表示の中から、メロディー演奏したい曲を見つけ、次にリズム/ソングの選択・スタートボタンを押しながら、弾きたい曲の黒鍵を同時に押します。すると2小節のカウントの後、曲がスタートします。

3 テンポの調節



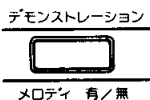
自動演奏の速さをテンポ調節ボタンで調節します。メロディー演奏しやすすい速さに調節してください。

▼ボタンを1回押すごとに速さが1段階遅くなり、▲ボタンを1回押すごとに1段階速くなります。(全体で16段階の範囲で調節できます。)

※曲によって初期テンポが異なります。

※▼ボタンと▲ボタンを同時に押すと、♩=120の速さになります。

4 メロディー音を消す



デモンストレーション・メロディー有/無ボタンを押します。すると、メロディー音だけが消えます。

※もう一度押すと、メロディー有りの状態に戻ります。

※メロディー有りの状態の時に弾いても鳴りません。

5 音色の指定



音色番号00～99の中で演奏に使う音色を指定します。

6 演奏



メロディーを弾いてみましょう。

7 停止



曲は繰り返し再生されます。停止させる時は、ストップボタンを押してください。

■プリセットソング (メロディー譜)

スワニー河

8ビート ♩ = 120

58 サックスとクラリネット

↑ハーモニーオン

↑ハーモニーオフ

朝日のあたる家

レゲエ ♩ = 132 (♩ = $\frac{3}{4}$)

19 ジャズオルガン

↑ハーモニーオン

↑ハーモニーオフ

茶色の小瓶

スイング ♩ = 159 (♩ = $\frac{3}{4}$)

04 ソプラノサックス

↑ハーモニーオン

きよしこの夜

ジャズワルツ ♩ = 112

C G7 C

39 ピブラフォン

G7 C C7

F C F

C G7 Am

↑ハーモニーオン

C G7 C

↑ハーモニーオフ

ジングルベル

ロックンロール ♩ = 184

C7 F B♭

C7 79 バンジョーとギター

F

B♭ C7 F C7 F

61 ギターとトランペット ↑ハーモニーオン

B♭ F G7

C7 F B♭

F C7 F B♭7 F7

アベマリア

ロッカバラード ♩ = 73

C Am7 C G7 Am7 F G7 C Caug Am7

32 ハープ

B7 G#dim Am7 G7 A7 G7 D7 G7

ハーモニオン

Dm7 Dm F Adim G G7 C Am7 C G7 C

ローレライ

ワルツ ♩ = 132

C G7 C F C Dm7

49 ストリングアンサンブル 2

C G7 C

F C Dm7 C G7

C G G7dim Am

G D7 G G7 C F

33 バイオリン

Dm7 C G7 C

ハーモニオン

草薙馬

カントリー ♩=132

30 パンジョー

71 パンジョーとホルン ♯ハーマニーオン

聖者の行進

マーチ2 ♩=132

40 プラスアンサンブル]

00トランペット

ハーマニーオン ♯

ブラームスの子守歌

ワルツ ♩ = 132

67 カリヨンとオカリナ

ハーモニーオン

イエスタデイ 作詞・作曲：ジョンレノン&ポールマッカートニー

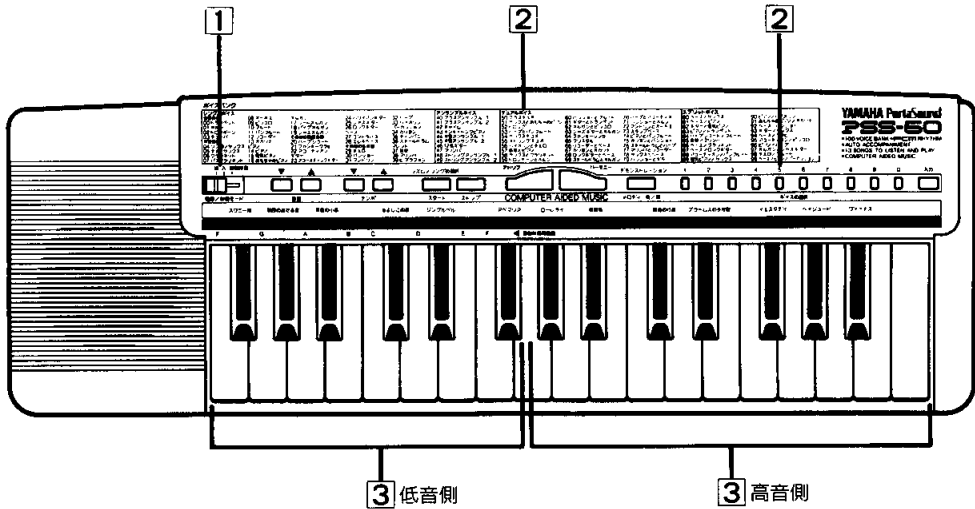
8ビート ♩ = 92

49 ストリングアンサンブル②

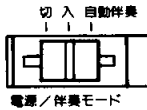
© Copyright 1965 for the World by NORTHERN SONGS LTD., London, England
 Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo
 Authorized for sale in Japan only
 日本音楽著作権協会(出)許第9070200-001号

5. 低音側と高音側を両方弾く

スプリットボイスと呼ばれる80~99の音色を選ぶことにより、低音側と高音側に分けて、別々の音色で演奏できます。主に低音側では伴奏を、高音側ではメロディーパートを演奏します。



1 電源を入れる



電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏)切替スイッチを“入”の位置にします。すると電源が入ります。

2 音色の指定



ボイスバンク表の80~99の中から、演奏に使う音色を見つけます。そしてボイスの選択ボタンで、演奏に使う音色を指定します。1~0ボタンを使って2桁の番号を指定し、次に入力ボタンを押してください。と、指定した音色の組み合わせで演奏できるようになります。
 ※たとえば89を選ぶと、低音側を電気ピアノの音で、高音側をサックスの音で演奏できます。

3 演奏



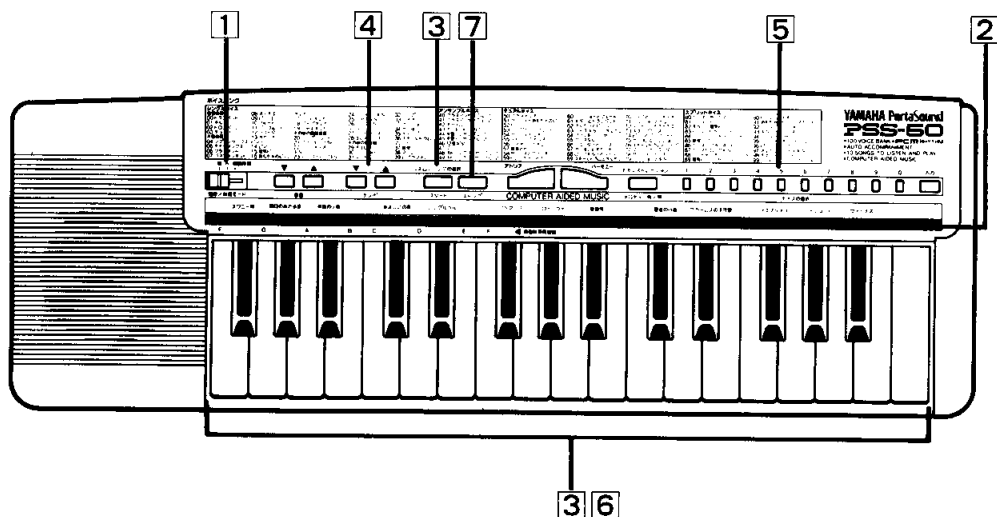
好きな曲を弾いてみましょう。
 ※低音側と高音側の鍵盤の境は、上図の③をご覧ください。

※いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

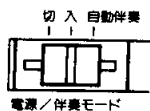
※電源/伴奏モード切替スイッチが“自動伴奏”の時は、自動伴奏用鍵盤の範囲では自動伴奏のコード指定、それ以外の範囲では高音側の音色で単音演奏できます。

6. リズムに合わせて弾く

PSS-50には19種類のリズムがあります。いろいろなリズムに切り替えて、それに合わせて弾いてみましょう。



1 電源を入れる



電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏)切替スイッチを“入”の位置にします。すると電源が入ります。

2 リズムの確認

リズムパターンの選択表示の中から、弾きたい曲に合うリズムを見つけます。

3 スタート

リズム/ソングの選択

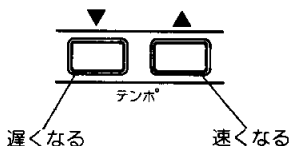


スタート

+ 鳴らしたいリズムの白鍵

リズム/ソングの選択・スタートボタンを押しながら、鳴らしたいリズムの白鍵を同時に押します。するとすぐにリズムの音が鳴り出します。

4 テンポの調節



リズムの速さをテンポ調節ボタンで調節します。演奏しやすい速さに調節してください。

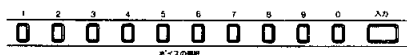
▼ボタンを1回押すごとに速さが1段階遅くなり、▲ボタンを1回押すごとに1段階速くなります。(全体で16段階の範囲で調節できます。)

*電源を入れた状態では、J=120の速さになっています。

*▼ボタンと▲ボタンを同時に押すと、J=120の速さになります。

3/聴らしてみよう

5 音色の指定



音色番号00～99の中で、演奏に使う音色を指定します。

6 演奏



弾いてみましょう。

7 停止



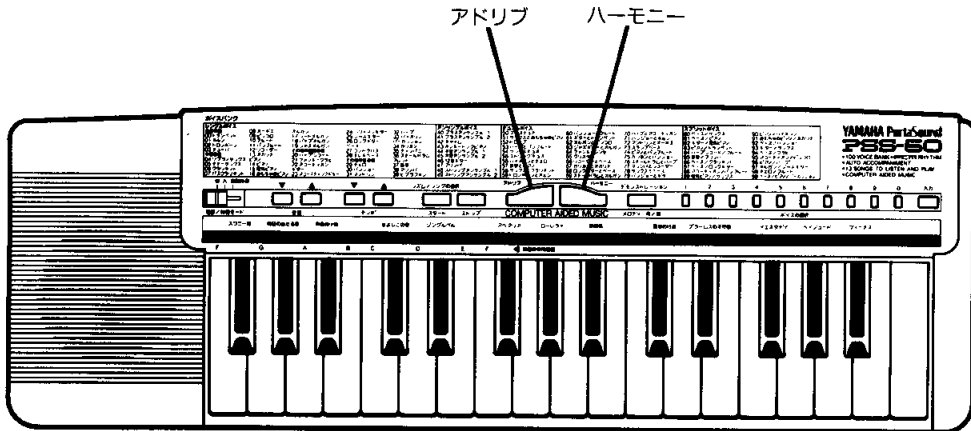
リズムは止めるまで繰り返し鳴ります。停止させる時は、ストップボタンを押してください。

※いろいろなリズムに切り替えて弾いてみましょう。

※演奏中、別のリズムに切り替えることもできます。なお、リズムを切り替えても、切り替え前のテンポが維持されます。

7. 演奏に効果を加える

コンピュータ・エイテッド・ミュージックという2つの優れた機能があります。これらは、演奏を引き立てる役目をするものです。うまいタイミングで効果をオンにして、演奏をさらに凝ったものにしてみましょう。



●アドリブ

アドリブは演奏を引き立てるメロディー音を鳴らす機能です。各リズムに5種類程度のパターンがあり、パターンは演奏やボタンの押し方によって決まります。アドリブ音は、メロディーを弾いていない時でも鳴らすことができます。

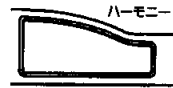


アドリブボタンを押している間と、離してからの数小節間、アドリブの音が鳴ります。

※アドリブは、デモンストレーションおよびプリセットソングの再生中以外は、いつでも鳴らせます。たとえば、リズムが鳴っていない時でも鳴らせます。(プリセットソングの再生中でも、メロディーなしの状態なら鳴らせます。)

●ハーモニー

ハーモニーは演奏中のメロディー音に厚みを与える効果です。サビなどのかんじんな所でオンにすると、メリハリが付いて効果的です。



ハーモニーボタンを押すと、ハーモニー効果がかかります。効果を解除する時には、もう一度押してください。

※ハーモニーの効果は、自分で弾くメロディーの音にだけかかり、コード音、ベース音、リズム音、パーカッション音にはかかりません。

※スプリットボイスを選んだ時の低音側の音には、ハーモニーはかかりません。

※音色を切り替えても、切り替え前の状態を維持します。

※ハーモニーの効果は、デモンストレーション、プリセットソングの再生中以外の演奏音に、いつでもかけることができます。(プリセットソングの再生中でも、メロディー無しの状態なら、演奏音にかけられます。)

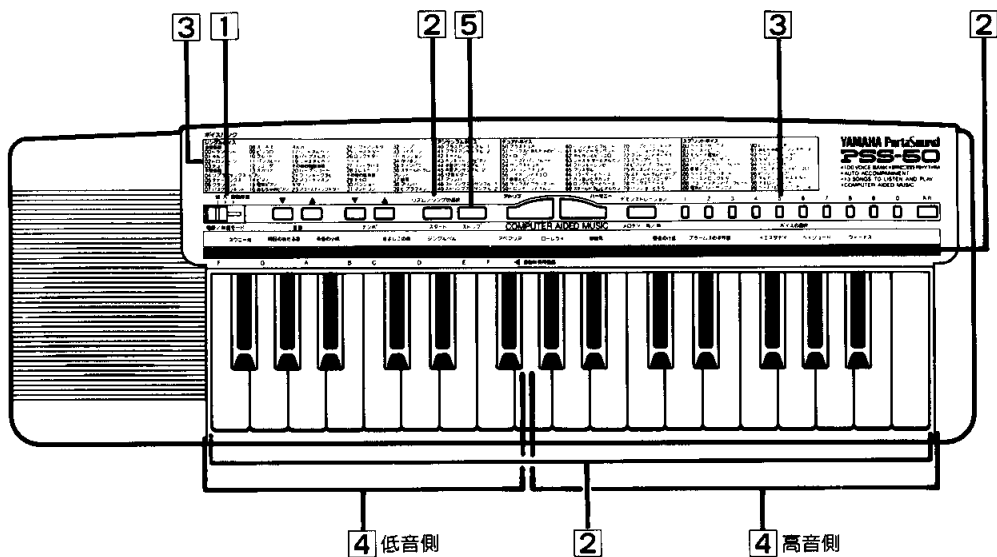
8. リズム、ベース、コードに合わせて弾く

電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏)切替スイッチを見てもわかるように、PSS-50には、自動伴奏という便利な機能が付いています。この機能を使えば、自分一人で4つのパートを演奏することができます。「4つのパートを自分一人で弾く。」なんて聞くと、なんだか難しそうだなと思われるかも知れませんが、実はとても簡

単です。左手(自動伴奏用鍵盤)でコードを押さえるだけで、リズムに合わせてベース音とコード音が自動的に鳴ります。ですから、あとは右手でメロディーを弾けば、4つのパートを演奏できてしまうわけです。

演奏のしかた

自動伴奏用鍵盤では、コードを押さえます。コードを押さえると言っても、とても簡単です。一般的なコードの押さえ方とは違い、メジャーコードなら指1本で、その他のコードでも2、3鍵押さえるだけでOKです。



1 電源を入れる



電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏)切替スイッチを“自動伴奏”の位置にします。すると電源が入り、簡単なコードの押さえ方で、自動伴奏を鳴らすことができるようになります。

2 リズムの確認と指定

リズム/ソングの選択



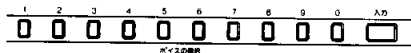
+ 鳴らしたいリズムの白鍵

スタート

リズムパターンの選択表示の中で、弾きたい曲に合うリズムを見つけ、リズムを指定します。すると演奏待機状態になります。

*演奏待機状態とは、自動伴奏用鍵盤を弾けばリズム、ベース、コード音が鳴り始める状態をいいます。

3 音色の確認と指定



音色番号00～99の中で、高音側の演奏に使う音色を指定します。
 ※リズム、ベース、コードの音色は選択したリズムにより自動的に決まります。

4 演奏



好きな曲を弾いてみましょう。リズム、ベース、コード音は、自動伴奏用鍵盤を弾いた時点から鳴り出します。

5 停止



伴奏音を止める時は、ストップボタンを押します。

★鍵盤の押し方

メジャーコードの場合

根音の鍵盤を押します。たとえばコードCの場合なら、



Cの鍵盤を押します。

※コードを変える時、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが思いどおりに変わらないことがあります。鍵盤から指を一旦離した上で、次の鍵盤を押すようにしてください。

※自動伴奏用鍵盤から指を離しても、そのコードの伴奏が続きます。つまり自動伴奏用鍵盤は、コードを変える時だけ押せばOKです。

※上記のコード以外は、次のように置き換えて押してください。

メジャーコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCmの場合なら、



のように押します。

- ・MaJ7(メジャーセブンス)
 - ・aug(オーギュメント)
 - ・dim(ディミニッシュ)
 - ・6th(シックス)
 - ・sus4(サスフォー)
- } → メジャーコード

セブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードC7の場合なら、



のように押します。

- ・m7-5(マイナーセブンスフラットファイブ) → マイナーセブンスコード
 - ・m6(マイナーシックス) → マイナーコード
 - ・7sus4(セブンスサスフォー)
 - ・7-5(セブンスフラットファイブ)
- } → セブンスコード

マイナーセブンスコードの場合

根音の鍵盤と、それよりも左側の白鍵(どれでもよい)と黒鍵(どれでもよい)を同時に押します。たとえばコードCm7の場合なら、



のように押します。

コード一覧表

検出できるコードの一覧表です。
 これら以外は、前ページで示したように置き換えて押してください。
 *押さえ方が2種類あるコードの場合は、片方の押さえ方の方にカットマークが付いています。

メジャーコード

そのコード名の鍵盤を押します。

C	
C [♯] /D ^b	
D	
D [♯] /E ^b	
E	
F	
F [♯] /G ^b	
G	
G [♯] /A ^b	
A	
A [♯] /B ^b	
B	

マイナーコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵を同時に押します。

Cm	
C [♯] m/D ^b m	
Dm	
D [♯] m/E ^b m	
Em	
Fm	
F [♯] m/G ^b m	
Gm	
G [♯] m/A ^b m	
Am	
A [♯] m/B ^b m	
Bm	

セブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の白鍵を同時に押します。

C7	
C [♯] 7/D ^b 7	
D7	
D [♯] 7/E ^b 7	
E7	
F7	
F [♯] 7/G ^b 7	
G7	
G [♯] 7/A ^b 7	
A7	
A [♯] 7/B ^b 7	
B7	

マイナーセブンスコード

そのコード名の鍵盤と、左の黒鍵と白鍵を同時に押します。

Cm7	
C [♯] m7/D ^b m7	
Dm7	
D [♯] m7/E ^b m7	
Em7	
Fm7	
F [♯] m7/G ^b m7	
Gm7	
G [♯] m7/A ^b m7	
Am7	
A [♯] m7/B ^b m7	
Bm7	

自動伴奏機能を使って、「ラブ・ミー・テンダー」を弾いてみましょう。

■練習曲

ラブ・ミー・テンダー (LOVE ME TENDER) 作詞・作曲：E. Presley & V. Matson

セッティング

リズム：8ビート

テンポ：ゆっくりと

音 色：06 クラリネットなど

自動伴奏用
鍵盤の
押さえ方

The musical score is written on a single treble clef staff. It consists of four lines of music. Above the staff, there are piano keyboard diagrams showing the fingerings for various chords. The chords are labeled as follows:

- Line 1: C, C, D7, G7, C
- Line 2: C, D7, G7, C
- Line 3: C, E7, Am, C7, F, Fm, C
- Line 4: C, A7, D7, G7, C

The melody is composed of quarter and eighth notes, with a final whole note chord at the end of the fourth line.

日本音楽著作権協会(出)許第 9070200-001 号
Copyright © 1956 by ELVIS PRESLEY MUSIC, INC.
Rights for Japan assigned to CHAPPEL/INTERSONG K.K.

4 資料

1. 他の機器と接続するには？

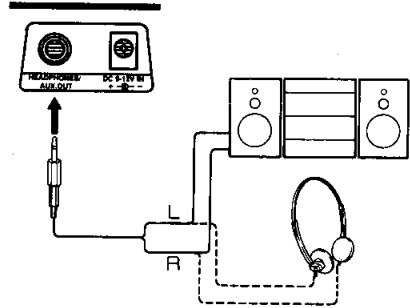
背面パネルの付属端子を使って各機器と接続できます。

・ヘッドホン/AUX出力端子

この端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。また、ヘッドホンを接続して外に音を出さずに演奏できます。

※ステレオに接続した時はPSS-50の音量ボタンの▼と▲を同時に押し、標準的な音量にし、ステレオのボリュームで音量を調節してください。

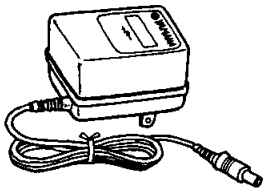
※この端子にプラグを差し込むと、PSS-50のスピーカーからは音が出なくなります。



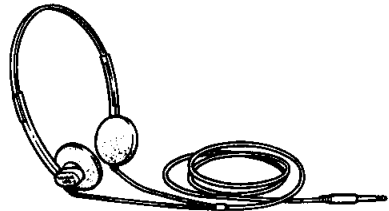
- ・電源アダプター接続用端子(2ページ参照)
別売りの電源アダプター(PA-3)を接続するための端子です。

2. オプション(別売品)のご紹介

電源アダプター・PA-3 ¥2,000



ステレオヘッドホン・HPE-3 ¥3,000



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

3.おかしいなと思ったら

おかしいな?と思ったらこの表を見てください。

現象	原因	解決法
電源/伴奏モード切替スイッチを入れた時または切った時、“ポツン”と音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから音が出ない。	音量が下がっている。	音量ボタンの▲を押して音量を上げてください。
	ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
リズムがスタートしない。リズムの音が出ない。	スタートさせていない。	リズムを指定してください。
	演奏待機状態になっている。	自動伴奏用鍵盤を押してください。
自動伴奏されない	自動伴奏の状態になっていない。	電源/伴奏モード切替スイッチを、自動伴奏の位置にしてください。
	高音側を弾いている。	低音側の鍵盤でコード指定してください。伴奏音が出ます。
鍵盤の途中から音階がおかしくなる。	低音側の鍵盤を押している。	スプリットボイスを選んでいる。または自動伴奏の状態になっているため、そのようになります。
思ったとおりの和音が出ない。	指を離さないうちに、次のコードにしようとしている。	鍵盤から一旦指を離したうえで、次の鍵盤を押すようにしてください。
	正確に押さえていない。	23ページの“コード一覧表”等をご覧ください。
押さえた鍵盤の数だけ音が出ない。	同時に鳴らせる音数には制限があります。	28ページの“発音数一覧表”をご覧ください。
選んでいない音色で鳴る。	電源/伴奏モード切替スイッチを自動伴奏の位置にしている。	低音側の音色は、リズムごとに決まっています。
ハーモニー効果がかからない部分がある。	かかる部分が決まっているため。	リズム、ベース、コード、音色99の時のパッション音には、効果はかかりません。
音がとぎれたり、誤動作がおきたりする。	乾電池が寿命のため。	6本共新しい乾電池と交換するか、または別売りの電源アダプターを接続してください。

4.仕様

- 鍵盤
一段ミニ鍵盤32鍵(F₁~C₄)
- 同時発音数
最大8音
- ボイス(100音色)
 - ・シングルボイス
金管楽器(トランペット、ホルン、トロンボーン、チューバ)、木管楽器(ソプラノサクソ、テナーサクソ、クラリネット、バスクラリネット、オーボエ、ピッコロ、フルート、パンフルート、リコーダー、オカリナ)、ピアノ(ピアノ、電ピアノ、おもちゃのピアノ)、オルガン(リードオルガン、パイプオルガン、ジャズオルガン)、その他の鍵盤楽器(ハーブシコード、ファンキークラビ、アコーディオン)、ギター(アコースティックギター、ハワイアンギター、ジャズギター、ロックギター)、ベース(アコースティックベース、エレキベース)、その他の弦楽器(チェロ、バンジョー、マンドリン、ハーブ、バイオリン)、パーカッション、(カリヨン、ティンパニ、スチールドラム)、マレット(鉄琴、マリンバ、ピブラフォン)
 - ・アンサンブルボイス
(プラスアンサンプル1、プラスアンサンプル2、チャイム、ホンキートンクピアノ、木管アンサンプル1、木管アンサンプル2、12弦ギター、マリンバ、ストリングアンサンプル1、ストリングアンサンプル2)
 - ・デュアルボイス
(プラスデュオ、サクソとおもちゃのピアノ、ドロップ、ハーブとパンフルート、サクソデュオ、ストリングデュオ、バイオリンとチェロ、鉄琴とピアノ、サクソとクラリネット、トロンボーンとホルン、バンジョーとフルート、ギターとトランペット、オルガンとピッコロ、ジャズギターとオルガン、ファンキーシンセ、クリスタル、リコーダーとベース、カリヨンとオカリナ、ロックギターとベース、スチールドラムとオルガン、ハーブとアコーディオン、バンジョーとホルン、マンドリンとオーボエ、スラップベース、ピアノとパンフルート、カリヨンとバンジョー、スチールドラムとハーブ、マリンバとリコーダー、サクソとベース、バンジョーとギター)
 - ・スプリットボイス
(ベース/サクソ、ベース/ピアノ、ギター/電気ピアノ、ピアノ/トランペット、ハーブシコード/フルート、鉄琴/マリンバ、ベース/クラリネット、ベース/ロックギター、アコーディオン/パンフルート、電気ピアノ/サクソ、ピアノ/バイオリン、おもちゃのピアノ/オカリナ、ベース/バンジョー、ギター/サクソ、ベース/クラビ、アコーディオン/ピッコロ、ピアノ/ハーブ、オルガン/ジャズギター、チェロ/フルート、ベース/ピアノ/パーカッション)

- リズムパターン(19種類)
8ビート、16ビート、ロックンロール、ハードロック、ロックバラード、ディスコ、ボサノバ、スイング、ファンク、テクノロック、シャッフ、サンバ、ジャズワルツ、レゲエ、カントリー、タンゴ、ワルツ、マーチ1、マーチ2
- 効果
アドリブ、ハーモニー
- コントロール
電源/伴奏モード(切/入/自動伴奏)切替スイッチ、音量(▼、▲)ボタン、テンポ(▼、▲)ボタン、リズム/ソングの選択(スタート)ボタン、ストップボタン、アドリブボタン、ハーモニーボタン、デモンストレーション(メロディー有/無)ボタン、音色(1~0、入)ボタン
- プリセットソング(13種類)
スワニー河、朝日のおたる家、茶色の小瓶、きよしこの夜、シングルベル、アベマリア、ローレライ、草競馬、聖者の行進、ブルームの守歌、イエスタディ、ヘイジュード、ヴィーナス
- 付属端子
ヘッドホン/AUX出力端子、電源アダプター接続用端子
- メインアンプ
0.7W×1
- スピーカー
7.7cm(4Ω)×1

- 定格電源
DC9V：単3乾電池6本
電源アダプター
(PA-1、PA-1B、PA-3)
- 消費電力
乾電池使用時：0.95W
電源アダプター使用時：2.7W
- 電池寿命
約20時間(マンガン乾電池を使用し、デモンストレーションを連続再生させた場合)
- 外装仕上げ
スチロール樹脂・アクリルラッカー塗装
- 寸法(譜面立て取り外し時)
(間口)498mm×(奥行)170mm×(高さ)64mm
- 重量(乾電池、譜面立て重量含まず)
1.1kg
- 付属品
単3乾電池6本

5.発音数一覧表

ここでは、各状態における同時発音数を表にします。

電源/伴奏モード切替スイッチ	音色	発音数
入	シングルボイス	8音
	アンサンブルボイス	4音
	デュアルボイス	
	スプリットボイス	低音側と高音側の合計で8音
自動伴奏	シングルボイス	4音(他にコードは3音、ベースは1音、リズムは4音)
	アンサンブルボイス	2音(他にコードは3音、ベースは1音、リズムは4音)
	デュアルボイス	
	スプリットボイス	高音側4音(他にコードは3音、ベースは1音、リズムは4音)

*PSS-50は後着優先の楽器です。したがって最大同時発音中に新たに鍵盤が押されると前の音を消して新しい音を発音します。

6.アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任をもって修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいなと思ったら”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。
(ご依頼をお受けて点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬときにお客さまにご迷惑をおかけしないで済みます。)

ヤマハ電気音響製品アフターサービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸高共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL. 025-243-4321
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル TEL. 03-255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ瓣富竹工場内 TEL. 0534-65-1158
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中区川元玉川町2-1-2 ヤマハ瓣名古屋流通センター3F TEL. 052-652-2230
京都サービスセンター	〒600 京都市下京区七条通南之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL. 075-361-6470
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ瓣千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ瓣神戸店內 TEL. 078-321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸龜町8-7 ヤマハ瓣高松店内 TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
(本 社)	
電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL. 0534-65-1158

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL. 011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6140
東京支店 特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL. 03-572-3130
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5150
大阪支店 特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL. 06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
本社 電子楽器営業部	〒430 浜松市中沢町10-1
ポータブル楽器営業課	TEL. 0534-60-3271

*住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社

YAMAHA feelin' club



T4960693043165